

電話／テレビ電話のかけかた

電話をかける	62
リダイヤル／着信履歴	63
番号通知 (186)／非通知 (184)	65
発信オプション	
～条件を指定して電話をかける～	65
着もじ	66
国際電話 (WORLD CALL)	67
国際ダイヤルアシスト設定	68
プレフィックス設定	69
サブアドレス設定	69
ブッシュ信号 (DTMF)	69
ノイズキャンセラ設定	70
車載ハンズフリー	70
通話中保留	70
ハンズフリーの利用	71
通話中の受話音量調整	71
はっきりボイス	71
ゆっくりボイス	71
電話／テレビ電話切替	72
通話中音声メモ／動画メモ	72

電話／テレビ電話の受けかた

電話を受ける	73
応答保留	73
エニーキーアンサー設定	
～ダイヤルキーなどを押して電話に出る～	74
着信中オープン応答	74
通話中クローズ設定	74
マルチアクセス中表示	
～通話中の着信時に優先表示する画面を設定する～	74

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

公共モードの利用	75
伝言メモ	76
伝言メモ／音声メモの操作	76

分離／接合時の電話の動作

電話機能利用中の分離／接合	77
通話中ランチャー	78
電話のタッチ操作	78

テレビ電話の設定

キャラ電の設定	79
テレビ電話中の表示設定	80
テレビ電話切替機能通知	81
テレビ電話画像選択	81
テレビ電話動作設定	81
パケット通信中着信設定	82
テレビ電話使用機器設定	
～外部機器と接続してテレビ電話を使用する～	82

電話をかける

電話番号を入力したり、リダイヤル／着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモの電話番号を選択したりして発信します。電話帳に電話番号を登録していれば、メールやGPSなどの各種履歴からも発信できます。

- ・ 分離／接合時の電話の動作→P77
- ・ タッチ用メニューボタンでの操作→P78
- ・ タッチロックの起動／解除→P127

1 電話番号を入力 (80桁以内)

- ・ 同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- ・ 訂正する場合は **[ACLR]** を押します。

2 発信方法を選択

音声電話の発信：**[☎]**

テレビ電話の発信：**[📺]** 【テレビ電話】

テレビ電話接続中は、自分側の映像が表示されます。

3 通話が終わったら **[📞]**

✓お知らせ

〈音声電話・テレビ電話共通〉

- ・ 登録済みフェムトセル圏内から発信した場合、発信中／呼出中／通話中画面にフェムトセル利用を示す文字が表示されます。
- ・ 番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか、「186」を付けてかけ直してください。

〈音声電話〉

- ・ **[☎]** を押した後に電話番号を入力しても電話をかけられません。その場合、電話番号を入力した後、約5秒後に電話がかかります。

〈テレビ電話〉

- ・ テレビ電話中画面に「テレビ電話接続」と表示された時点から通話料金がかります。
- ・ テレビ電話のカメラ映像の代わりに代替画像を送信しても、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になります。

- ・ テレビ電話が接続できなかった場合は、その理由がメッセージで表示され待受画面に戻ります。なお、相手の電話機の種類やネットワークサービスのご利用の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。主なメッセージは次のとおりです。

- **お話中です**：相手が話中（相手の端末によっては、パケット通信中のときにも表示されることがある）
- **発信者番号通知をONにしてください**：発信者番号が非通知（ビジュアルネットなどへの発信時）
- **音声電話でおかけ直してください**：相手が転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末
- **パケット通信中です**：相手がパケット通信中
- **iモードから接続してください**：IP（情報サービス提供者）が提供しているサイトに接続してからテレビ電話発信していない
- **上限額を超過しているため接続出来ません**：リミット機能付料金プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超過している
- ・ テレビ電話動作設定の音声自動再発信が「ON」のときに着もじを付加してテレビ電話発信した場合は、再発信時も着もじが付加されます。
- ・ テレビ電話動作設定の音声自動再発信が「ON」のときにFOMA端末から緊急通報（110番、119番、118番）へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
- ・ ハンズフリー ON/OFFの切り替えはテレビ電話動作設定のハンズフリー設定に従います。

◆ テレビ電話

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。

- ・ テレビ電話は64kbpsでのみ通信できます。
- ・ ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。
 - ※1 3GPP (3rd Generation Partnership Project) …第3世代移動通信システム (IMT-2000) に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体
 - ※2 3G-324M…第3世代携帯テレビ電話の国際規格
- ・ テレビ電話中に分離すると、ディスプレイユニットで映像を見ながら、キーユニットで音声を取り取りできます。→P77

◆ テレビ電話中画面の見かた



- マークの意味は次のとおりです。

×1	IG	ズーム
📷	📷	カメラ映像送信中
📷	📷	カメラオフ画像送信中
📷	📷	キャラ電中
📷	📷	静止画送信中
📷	📷	通話保留中
📷	📷	応答保留中
📷	📷	伝言メモ録画中
📷	📷	動画メモ録画中
📷	📷	Action / Parts: アクションモード (全体アクション/パーツアクション)
📷	📷	撮影モード (標準/逆光/モノトーン/セピア)
📷	📷	ライトON
📷	📷	HQ: 送信画質 (動き優先/画質優先)
📷	📷	音声送受信
📷	📷	映像送受信
📷	📷	AV: 音声・映像送受信
📷	📷	受話音量調整
📷	📷	接写撮影ON
📷	📷	テレビ電話切り替え可

リダイヤル／着信履歴

電話の発信と着信の履歴を記録しておく機能です。電話をかけ直したり、電話帳に登録したりします。

- リダイヤルと着信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

◆ リダイヤルの表示



◆ 着信履歴の表示



✓お知らせ

〈リダイヤル／着信履歴共通〉

- 通話中に音声電話とテレビ電話が切り替わった場合、発着信時の種別が記録されません。
 - 国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます。「010」を付けて発信した場合は表示されません。
 - 音声電話中に☒を押すと、リダイヤル／着信履歴が表示されます。
 - 電話帳に画像登録時は、詳細画面の表示は画像／名前表示切替に従います。
 - 2in1利用時は、リダイヤルと着信履歴はAナンバー最大30件、Bナンバー最大30件まで記録されます。
 - 2in1利用時、Bナンバーのリダイヤル／着信履歴ではSMSは作成できません。
- 〈リダイヤル〉
- 同じ電話番号に発信した場合は、番号通知の「指定なし」「通知」「非通知」ごとに最新の1件がリダイヤルに記録されます。
 - マルチナンバー契約時、サブメニューからマルチナンバーを指定して発信した場合は、その名称が詳細画面に表示されます。

〈着信履歴〉

- 電話番号が通知されなかった場合は、発信者番号非通知理由が表示されます。
- 受信した着もじは着信履歴に記録されます。
- 呼出動作開始時間設定の呼出開始時間内の不在着信も含め、すべての着信履歴を表示する場合は着信履歴一覧で **[MENU]** **[9]** **[1]** を押します。元の着信履歴に戻す場合は、**[MENU]** **[9]** **[2]** を押します。
- 着信履歴一覧で **[MENU]** **[0]** を押すと、未確認の不在着信の件数を表示できます。
- 電話帳未登録でリダイヤルにある電話番号から着信した場合は、「折り返し着信」が表示されます。
- マルチナンバー契約時は着信したマルチナンバーの名称が詳細画面に表示されます。
- 会社などでダイヤルインを利用している相手から着信した場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。

❖ 不在着信

待受画面に **[0]** **[2]** (数字は件数) が表示され、着信履歴に不在着信として記録されます。

- 覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

❖ リダイヤル／着信履歴の見かた



リダイヤル一覧画面



リダイヤル詳細画面

- マークの意味は次のとおりです。
 - : 音声電話／国際音声電話の発着信※1
 - : テレビ電話／国際テレビ電話の発着信※1
 - : 64Kデータ通信／国際64Kデータ通信の着信
 - : 不在着信／未確認不在着信
 - : 伝言メモ／未確認伝言メモ※2
 - : 着もじ付きの着信
 - : 着もじ付きの不在着信／未確認不在着信
 - : 着もじ付きの伝言メモ／未確認伝言メモ※2
 - : 発信オプションまたは電話帳の発着号設定で設定した番号通知／非通知の発信
 - : 海外滞在時 (GMT+09:00を除く) の発着信※3
 - : Bナンバーの発着信 (2in1がデュアルモード時)
 - : 不在着信の呼出時間
 - : フェムトセル在圏中の音声電話／国際音声電話の発着信
 - : フェムトセル在圏中のテレビ電話／国際テレビ電話の発着信
- ※1 「010」を直接入力または「010」を電話帳に登録して発信した場合は、国際電話のマークと「+」は表示されません。
- ※2 伝言メモを削除すると不在着信のマークに変わります。
- ※3 発着信日時が記録されていないときなどは表示されない場合があります。

◆ リダイヤル／着信履歴の操作

1 または

2 目的の操作を行う

詳細画面の表示：相手にカーソル ▶

削除：相手にカーソル ▶ **[MENU]** **[6]** ▶ **[1]** ~ **[3]** ▶ 「はい」

- ・ 1件削除ではカーソルを合わせたリダイヤル／着信履歴が削除されます。
- ・ 選択削除では選択操作 ▶ が、全件削除では認証操作が必要です。

電話の発信：相手にカーソル ▶ または **[iR]** [テレビ電話]

- ・ 次の場合は、発着信時の方法で発信されます。
 - スライドスタイルで、詳細画面表示中に を押す
 - ベーシックスタイルまたはセパレートスタイルで、一覧画面表示中に [発信] をタッチする

・ **[MENU]** **[1]** を押すと、発信オプションを利用できます。→P65

相手の居場所を確認：相手にカーソル ▶ **[MENU]** **[4]** ▶ 「はい」

- ・ 電話番号を検索対象として「イマドコかたんサーチ」に接続します。
- ・ イマドコかたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。

電話帳に登録：相手にカーソル ▶ **[MENU]** **[5]** ▶ **[1]** または **[2]** ▶ **[1]** または **[2]**

電話帳登録→P84

- ・ 更新登録するときは登録する電話帳を選択します。

i モードメールの作成：相手にカーソル ▶ [作成]

SMSの作成：相手にカーソル ▶ (1秒以上)

一覧画面の切り替え：**[MENU]** **[7]**

メール送信履歴／受信履歴の表示： [送履歴／受履歴]

詳細画面表示の切り替え：リダイヤル／着信履歴詳細画面で

[MENU] **[9]** ▶ **[1]** ~ **[3]**

番号通知 (186) / 非通知 (184)

発信者番号の通知／非通知を設定して発信します。

- ・ 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- ・ 番号通知方法の優先順位→P60

■ 通知で発信

1 **[1]** **[8]** **[6]** ▶ 電話番号を入力 ▶ または [テレビ電話]

■ 非通知で発信

1 **[1]** **[8]** **[4]** ▶ 電話番号を入力 ▶ または [テレビ電話]

✓お知らせ-----

- ・ 国際電話では「186」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
- ・ 「186」または「184」を付けて発信した場合、リダイヤルにはその番号が付いた電話番号が記録されます。

発信オプション

発信方法や番号通知などの発信条件を発信ごとに設定します。

- ・ 番号通知方法の優先順位→P60

1 電話番号を入力 ▶ **[MENU]** **[2]**

- ・ 電話帳、各種履歴から操作するときは、相手にカーソル ▶ **[MENU]** ▶ 「発信オプション」を選択します。

2 各項目を設定

着もじ：着もじの操作・選択→P67

マルチナンバー／自局番号：発信番号を選択

マルチナンバーの発信方法→P398

・ 「自局番号」は2in1がデュアルモードまたはBモード時に表示されます。

発信方法：発信方法を選択

番号通知：発信者番号の通知／非通知を設定

- ・ 「指定なし」にすると発信者番号通知設定に従います。

プレフィックス：先頭に付加する番号（プレフィックス）を選択→P69
国際電話発信：国際電話発信を設定
国際プレフィックス：日本から国際電話発信時の国際アクセス番号を選択
国番号：国際電話発信時の国番号を選択

3 [MENU] [発信] または [✉]

- 発信方法で「テレビ電話」を選択した場合は、[☎]を押すと通話中に表示するキャラ電を選択できます。
- 受信/送信メール詳細画面から操作するとき、またはPhone To (AV Phone To) 機能を利用するときは、発信確認画面が表示される場合があります。「元の番号で発信」を選択すると、着もじと発信方法以外の設定が解除された状態で発信されます。

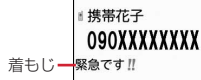
✓お知らせ

- 発信方法の「SMS」は、SMS To機能を利用する場合などで選択できます。
- 発信者番号通知を設定して発信しても、利用している通信事業者によっては、発信者番号が通知されなかったり正しく番号表示されなかったりすることがあります。この場合、着信履歴から発信できません。
- プレフィックスと国際電話発信は同時に設定できません。
- 発信オプションを利用した国際電話のかけかた
 - 日本から国際電話発信→P68
 - 海外から国際電話発信→P410

着もじ

音声電話やテレビ電話をかける際、呼出中に相手側へメッセージを送ることで、あらかじめ要件や緊急度を伝えることができます。

- 着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。



✓お知らせ

- 送信側は料金がかかります。受信側は料金がかかりません。
- 相手が非対応端末、メッセージ表示設定が「表示しない」、海外にいるときなどは送信できません。この場合は「送信できませんでした」と送信結果が表示され、送信料金はかかりません。また、相手が電源が入っていない、圏外、公共モード（ドライブモード）中、伝言メモ応答時間設定が「0秒」のときなども送信できず、この場合は送信結果も表示されません。
- 相手の呼出動作開始時間設定の呼出開始時間内でも着もじは送信され、送信料金がかかります。
- 電波状態によっては、相手に着もじが届いて送信料金が発生しても送信結果が表示されない場合があります。
- 海外では着もじを送受信することはできません。
- オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中は、着もじは受信できませんが着信画面には表示されません。ロックを解除すると着信履歴に表示されます。

◆着もじの操作

着もじを登録/編集したり、表示の設定を行います。

1 [MENU] [8] [8] [3] [1]

2 目的の操作を行う

着もじの登録：「(新しいメッセージ)」▶着もじを入力（10文字以内）

▶ [📷] [登録]

- 着もじは最大10件登録できます。

送信履歴から登録：[MENU] [1]▶送信履歴を選択▶着もじを修正▶ [📷] [登録]

着もじの修正：着もじを選択▶着もじを修正▶ [📷] [登録]▶「はい」

着もじの削除：着もじにカーソル▶[MENU]▶[2]または[3]▶「はい」

■メッセージ表示設定

1 [MENU] [8] [8] [3] [2]▶[1]～[4]

- 「表示しない」にすると着もじを受信しません。



◆ 着もじをつけて発信



着もじは相手の着信画面に表示されます。

- 着もじが相手に届くと、発信側の呼出中画面に「送信しました」と送信結果が表示されます。
- 送信した着もじは送信メッセージ履歴に最大10件保存されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 電話番号を入力 ▶





2 目的の操作を行う

入力して発信:  ▶ 着もじを入力 (10文字以内) ▶  【確定】


▶  【発信】 または  【テレビ電話】

選択して発信:  ▶ 着もじを選択 ▶  【発信】 または  【テレビ電話】

送信履歴から引用して発信:  ▶ 着もじを選択 ▶  【発信】 または  【テレビ電話】

- 発信オプションから操作するとき、電話帳または各種履歴で相手にカーソル ▶   ▶ 着もじ欄を選択 ▶  ~  ▶ 着もじを入力または選択して発信します。「指定なし」のときは発信オプション画面が表示されます。

✓ お知らせ

- 2in1利用時、送信した着もじは送信メッセージ履歴にAナンバー最大10件、Bナンバー最大10件まで保存されます。表示はモードによって異なります。
- 2in1がデュアルモード時、Bナンバーの送信メッセージ履歴にはが表示されます。

国際電話 (WORLD CALL)

「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 海外利用→P406
- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせて請求させていただきます。
- 申込手数料は不要です。また、月額使用料は無料です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 「WORLD CALL」の詳細は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

海外の特定3G通信事業者をご利用のお客様、またはFOMA端末をご利用のお客様と国際テレビ電話ができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

1 ▶ 国番号 ▶ 地域番号 (市外局番) の先頭の「0」を除いた電話番号を入力 ▶

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 上記の電話番号をFOMA端末の電話帳に登録できます。
- 009130 ▶ 010 ▶ 国番号 ▶ 地域番号 (市外局番) の先頭の「0」を除いた電話番号でもかけられます。

❖「+」で国際電話を発信

[0]を1秒以上押しすると「+」が入力されます。「+」の入力だけで、国際アクセス番号を入力しなくても国際電話をかけられます。

• セパレートスタイル時にQWERTYキーを使用する場合は、[.]を1秒以上押すか、[.]を押しても「+」を入力できます。

1 [0] (1秒以上) ▶ 国番号 ▶ 地域番号 (市外局番) の先頭の「0」を除いた電話番号を入力 ▶ [↵] ▶ 「はい」

• イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

❖国際アクセス番号/国番号を指定して国際電話を発信

発信オプションで国際アクセス番号や国番号を選択して発信します。→P65

1 地域番号 (市外局番) ▶ 電話番号を入力 ▶ [MENU] [2] ▶ 国際電話発信欄を選択 ▶ [2] ▶ 国際プレフィックス欄を選択 ▶ 国際アクセス番号の名称を選択 ▶ 国番号欄を選択 ▶ 国番号を選択 ▶ [MENU] [発信] または [↵] ▶ 「はい」

• 「元の番号で発信」を選択すると発信されません。

国際ダイヤルアシスト設定

国際電話発信時に利用する国番号と国際プレフィックスを簡単に呼び出せるように設定します。

❖自動変換機能設定

「+」を入力して国際アクセス番号を自動変換するかを設定します。また、海外から電話をかけるときに国番号を付加するかを設定します。

1 [MENU] [8] [8] [0] [5] [1] ▶ 各項目を設定 ▶ [📷] [登録]

国番号変換：「ON」を選択して国番号を選択

• 海外で電話をかけるときに有効です。

国際プレフィックス変換：「ON」を選択して国際アクセス番号を選択

❖国番号設定

国際電話をかけるときに必要な国番号を最大22件登録できます。

1 [MENU] [8] [8] [0] [5] [2]

2 目的の操作を行う

登録：国番号を選択 ▶ 各項目を設定 ▶ [📷] [登録]

• 国名称を全角8 (半角16) 文字以内で、国番号を5桁以内で入力します。

修正：国番号を選択 ▶ 各項目を設定 ▶ [📷] [登録]

自動変換を設定：国番号にカーソル ▶ [📷] [自動設定]

設定すると✓が表示されます。

削除：国番号にカーソル ▶ [MENU] [3] ▶ 「はい」

❖国際プレフィックス設定

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号を最大3件登録できます。

1 [MENU] [8] [8] [0] [5] [3]

2 目的の操作を行う

登録：「[未登録]」 ▶ 各項目を設定 ▶ [📷] [登録]

• 名称を全角8 (半角16) 文字以内で、国際アクセス番号を10桁以内で入力します。

修正：国際アクセス番号を選択 ▶ 各項目を設定 ▶ [📷] [登録]

自動変換を設定：国際アクセス番号にカーソル ▶ [📷] [自動設定]

設定すると✓が表示されます。

削除：国際アクセス番号にカーソル ▶ [MENU] [3] ▶ 「はい」

プレフィックス設定

「184」「186」など、電話番号の先頭に付加する番号（プレフィックス）をあらかじめ設定できます。

- プレフィックスは最大3件登録できます。

1 MENU 8 5 6 2 ▶ 入力欄に番号を入力（10桁以内）

▶ 【登録】

- プレフィックスにポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を含めて登録すると、そのプレフィックスを付加して電話発信できません。

❖ プレフィックスをつけて発信

発信オプションでプレフィックスを選択して発信します。→P65

1 電話番号を入力 ▶ MENU 2

- 電話帳、各種履歴から操作するときは、相手にカーソル ▶ MENU ▶ 「発信オプション」を選択します。

2 プレフィックス欄を選択 ▶ プレフィックスを選択 ▶ MENU 【発信】 または 【テレビ電話】 ▶ 「はい」

サブアドレス設定

電話番号に含まれる「*」以降の番号をサブアドレスとして認識し、サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すかを設定します。

- サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。

1 MENU 8 5 6 3 ▶ 1 または 2

❖ サブアドレスをつけて発信

1 電話番号を入力 ▶ ▶ サブアドレスを入力 ▶ または 【テレビ電話】

✓お知らせ-----

- サブアドレス設定が「ON」でも、ポーズ（「P」）やタイマー（「T」）を入力した後に「*」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「*」を含んだプッシュ信号として送出されます。

プッシュ信号（DTMF）

プッシュ信号を送って対応する各種サービス进行操作します。ネットワークサービスの操作も行えます。

- ポーズとタイマーは音声電話にのみ有効です。

✓お知らせ-----

- プッシュ信号は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- 通話を保留にして別の相手にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力して電話をかけることはできません。

❖ ポーズ「P」送出

ご自宅の留守番電話の操作、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスに利用します。

1 電話番号を入力 ▶ (1秒以上) ▶ 番号を入力 ▶

2 電話がつながったら [実行]

ポーズ（「P」）以降の番号が送出されます。

❖ タイマー「T」送出

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。

1 電話番号を入力 ▶ (1秒以上) ▶ 内線番号を入力 ▶

外線番号に続いて、タイマー（「T」）1つにつき約1秒間の間隔をとって内線番号が送信されます。

・タイマー（「T」）は連続して入力できます。

❖ テレビ電話中DTMF送信

テレビ電話中にプッシュ信号を送信します。

1 通話中に ▶ 番号を入力

押した番号が画面に表示され、プッシュ信号が送出されます。

送出解除：

- ・カメラ映像送信中やカメラオフ画像送信中は を押さなくても、ダイヤルキーを押すだけでプッシュ信号が送出できます。
- ・送信中の静止画は解除されます。
- ・キャラ電中はダイヤルキーによるアクション操作はできません。

ノイズキャンセラ設定

ノイズを抑えて通話を明瞭にします。

・通常は、「ON」にした状態で使用することをおすすめします。

1 ▶ または

車載ハンズフリー

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発信などの操作ができます。

- ・ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時は、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

✓お知らせ-----

- ・ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定のときは、FOMA端末のマナーモードや着信音の設定に関わらず、電話着信時はハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- ・ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定のときは、通話中クローズ設定に関わらず、FOMA端末を閉じてても通話は継続されます。
- ・伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。

通話中保留

1 通話中に [保留]

通話が保留になり、ランプが緑色で点滅し、メロディが流れます。テレビ電話のときは、自分と相手にテレビ電話保留中画像が表示されます。

通話中保留の解除： [解除] または

テレビ電話通話中保留の解除：次のいずれかを押し

[解除]：保留前に送信していた画像に戻る

[自画像] / [送信]：カメラ映像が送信される

[代替画像]：代替画像が送信される

✓お知らせ-----


- ・保留中も発信側に通話料金がかかります。
- ・保留中は、3分経過することに5回までFOMA端末が振動します。ただし、公共モード（ドライブモード）中またはオリジナルマナーモード中でオリジナルマナーモードのバイブレーション設定が「OFF」の場合は振動しません。


ハンズフリーの利用

FOMA端末を持たずに、スピーカーから相手の声が聞こえる状態で通話します。






- ハンズフリー ONにすると音量が急に大きくなります。FOMA端末を耳から離して使用してください。
- FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話してください。周囲や相手側の雑音が大きく、スピーカーから相手の声が聞き取りにくい場合は、ハンズフリー OFFにしてください。
- マナーモード中でも本機能を利用できます。
- ハンズフリー ONで通話中に、FOMA端末を分離/接合したり、ユニット間で音声通話先を切り替えたりすると、ハンズフリー OFFになります。

1 通話中に



ディスプレイ上部に  が表示されます。

解除：ハンズフリー ONで通話中に 

ハンズフリー ONで発信：

- ① 電話番号を入力
- ②  (1秒以上) または  [テレビ電話]
 - 電話帳、各種履歴から操作するときは、相手にカーソル  (1秒以上) または  [テレビ電話] を選択します。
 - 発信中または呼出中は、 を押すたびに切り替えられます。

✓お知らせ

- テレビ電話動作設定のハンズフリー設定が「OFF」のとき、ハンズフリー ONで発信する場合は、、 のいずれかを1秒以上押しします。

通話中の受話音量調整

通話中に受話音量を変更して、聞き取りやすくします。

- 本設定は音量設定の受話音量に反映されます。→P94
- ハンズフリー ONで通話中の音量は通話終了後も保持されますが、受話音量には反映されません。


1 通話中に


はっきりボイス

音声電話中に、周囲の騒音に応じて最適な方法で調整し、聞き取りやすくします。また、相手や自分の声が小さいときにも自動で音量を大きくします。

- セパレートスタイルのキーユニットで通話中、ハンズフリー ONで通話中、海外のGSM/GPRSネットワークでは動作しません。
- 通話終了後も設定は保持されます。
- 本機能は受話音量を調整するためのものではありません。相手の声の音量は、受話音量で調整してください。→P94

1 音声電話中に 4

ONにすると、 が表示されます。ONでも動作しないときはグレーで表示されます。


解除：はっきりボイスON中に  4

ゆっくりボイス

音声電話中に、無音区間を利用して相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節し、聞き取りやすくします。

- 相手が区切りのない話しかたをしたときなどは通常の数値で聞こえます。
- 海外のGSM/GPRSネットワークでは動作しません。
- 通話終了後、設定は解除されます。

1 音声電話中に [ゆっくり/元の速さ]

ONにすると、 が表示されます。ONでも動作しないときはグレーで表示されます。

✓お知らせ

- ゆっくりボイスをONにすると、相手の声質、音楽や時報などが変化する場合があります。その場合はOFFにしてください。

電話／テレビ電話切替

音声電話／テレビ電話切り替え対応機種どうしであれば、通話中に発信側からの操作で、音声電話をテレビ電話に、テレビ電話を音声電話に切り替えられます。


- 切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- 切り替え操作を行う／切り替えに応じるには、着信側がテレビ電話切替機能通知を開始している必要があります。→P81

✓お知らせ


- 切り替えには5秒程度かかります。電波状態によっては、さらに時間がかかったり、切り替えができずに電話が切れたりする場合があります。
- 音声電話とテレビ電話の通話時間に応じて、通話料金がそれぞれ加算されます。切り替え中は通話時間に含まれず、料金は加算されません。
- 音声電話に切り替わるとハンズフリー OFFの、テレビ電話に切り替わるとハンズフリー ONの通話になります。ただし、セパレートスタイルではハンズフリー OFFとなります。
- キャッチホンでの音声電話中または相手側がパケット通信中はテレビ電話に切り替えられません。
- 音声電話中にパケット通信を行っている場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- カメラ映像の送信などテレビ電話中に行った設定は、音声電話とテレビ電話を切り替えるたびに解除されます。→P80

◆発信側での切替

■ 音声電話→テレビ電話切替

1 音声電話中に  【テレビ電話】 ▶ 「はい」

■ テレビ電話→音声電話切替

1 テレビ電話中に  1 ▶ 「はい」

◆着信側での対応

テレビ電話中に音声電話への切り替え要求を受けると、電話を切り替える旨のガイダンスが流れて自動的に通話が切り替わります。

音声電話中にテレビ電話への切り替え要求を受けると、電話を切り替える旨のガイダンスが流れ、カメラ映像送信確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると相手にはカメラ映像が、「いいえ」を選択するとテレビ電話画像選択の代替画像の標準画像が送信されます。


通話中音声メモ／動画メモ


通話中に相手の声や画像を録音／録画します。

- 通話中音声メモは、1件につき最大30秒、待受中音声メモと合わせて最大4件録音できます。→P360
- 動画メモは、1件につき最大30秒録画できます。i モーション／ムービーの「カメラ」に保存され、保存領域の空きが足りないとときや最大保存件数を超えるときは録画できません。
- 通話中音声メモの操作→P76
- 動画メモの再生 (→P309)、削除 (→P331)

1 通話中に (1秒以上)

録音／録画が開始されます。

- 録音／録画時間残り約5秒になると終了予告音(ピピッ)が、終了時には終了音(ピーッ)が鳴ります。
- 録音／録画中は画面の下に時間の経過が表示されます。
- 動画メモ録画中に  を押すと、録画時間の経過表示と通話時間表示が切り替わります。
- 動画メモ録画中は、テレビ電話画像選択の動画メモ画像の設定に従って画像が相手に送信されます。

停止：録音／録画中に  (1秒以上)

✓お知らせ

- ガイダンスによっては録音できないものがあります。
- 電波の状態により、通話中音声メモ／動画メモの録音内容が途切れたり、録画画像が乱れたりする場合があります。


電話を受ける


- ・分離／接合時の電話の動作→P77
- ・タッチ用メニューボタンでの操作→P78
- ・タッチロックの起動／解除→P127

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅します。

：着信音量調整

：着信音、バイブレータの動作を止める





・を押すと誤操作防止ロック状態になります。→P124

2 応答方法を選択

音声電話に応答：

テレビ電話に応答：または【テレビ電話】

テレビ電話接続中は、自分側の映像が表示されます。

- ・またはの代わりにを押すと、代替画像でテレビ電話を受けます。
- ・フロントキーのを押しても応答できます。

3 通話が終わったら

■ 着信中の表示

電話番号が通知されたときは電話番号が、電話番号を電話帳に登録しているときは登録している名前が表示されます。→P84

- ・電話番号が通知されなかったときは、発信者番号非通知理由が表示されます。
 - 非通知設定：発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
 - 公衆電話：公衆電話などから発信した場合
 - 通知不可能：海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

▼お知らせ

- ・留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかを契約済みで、通話中の着信動作選択が「通常着信」の場合、音声電話中に別の音声電話が着信すると「ブブ…ブブ…」という通話中着信音が聞こえます。このとき、留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスを開始にしていると各サービスが動作します。
- ・着もし受信時は、着信画面に着もじが表示されます。電話に出ると着もじは消えます。→P66
- ・FOMA端末からの転送電話着信時も、通常の着信時と同様に名前が表示されます。ただし、転送元によっては電話番号や名前が表示されない場合があります。
- ・サブアドレスが通知されてきた場合、発信者番号の後ろに「*」とサブアドレスが表示されます。
- ・国際電話の場合は、発信者番号の先頭に「+」が表示されます。
- ・電話帳未登録でリダイヤルにある電話番号から着信した場合は、「折り返し着信」が表示されます。

◆ 着信中のサブメニューからの操作

着信中にサブメニューから次の操作ができます。

- ・着信拒否：電話を受けずに切断
- ・留守番電話：留守番電話サービスセンターに接続
- ・転送でんわ：転送先に転送
- ・伝言メモ録音／録画：伝言メモを録音／録画

応答保留




着信時にすぐに電話に出られないときは応答保留にします。

- ・応答保留中も発信側に通話料金ががかかります。

1 着信中に

応答保留になり、相手に応答保留ガイダンスが流れます。テレビ電話の場合は、自分と相手にテレビ電話応答保留画像が表示されます。

2 電話に出られる状態になったらまたは【テレビ電話】

- ・テレビ電話の場合、を押すと代替画像が送信されます。
- ・フロントキーのを押しても応答できます。
- ・応答保留中にを押すか相手が電話を切ると、通話が終了します。

◆ 応答保留ガイダンス設定

応答保留中に相手に流れるガイダンスには、内蔵音だけでなく録音した自分の声を設定できます。1件約10秒間録音できます。

1 **MENU** **8** **1** **1** **8** **1** ▶ 保留音欄を選択 ▶ **2**

内蔵音を設定： **1** ▶ 操作3に進む

2 ガイダンスの編集欄の「録音」▶ 発信音の後に録音

メッセージ表示後に録音が始動され、約10秒後に終了音（ピーツ）が鳴ります。

停止：録音中に **0** 【停止】

・ガイダンスを確認するときは「再生」を選択します。

3 **0** 【登録】

✓お知らせ

・録音したガイダンスを削除すると、内蔵音のガイダンスに戻ります。

エニーキーアンサー設定

7以外に **0** ~ **9**、**0**、**✖**、**≡** を押して応答するかを設定します。

・音声電話で有効です。ただし、通話中の着信には無効です。

1 **MENU** **8** **5** **3** ▶ **1** または **2**

着信中オープン応答

音声電話着信時、FOMA端末を開いて応答できるように設定します。

1 **MENU** **8** **5** **6** **4** ▶ **1** または **2**

- ・「ON」にすると、応答保留中、伝言メモ応答ガイダンス中、伝言メモ録音中でもFOMA端末を開いて応答できます。
- ・通話中または保留中の着信にも有効です。キャッチホン開始中の通話中着信時は、現在の通話を保留にして着信に応答できます。キャッチホン停止中または未契約時は着信が継続されます。
- ・セパレートスタイルでは、キーユニットを開いても応答できません。ディスプレイユニットでタッチ操作するか、キーユニットで **7** を押してください。

通話中クローズ設定

通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定します。

- ・64Kデータ通信中、パケット通信中は動作しません。
- ・セパレートスタイル時は無効です。

1 **MENU** **8** **5** **7** **2** ▶ **1** ~ **3**

・「保留」のとき、もう一度FOMA端末を開くと保留は解除されます。

✓お知らせ

- ・本設定に関わらず、次の場合はFOMA端末を閉じても通話は継続されます。
 - ステレオイヤホンマイク（別売）を接続中
 - ハンズフリー対応機器接続時、接続先機器から音を鳴らすように設定中
 - 伝言メモ録音／録画中
- ・音声電話中の操作：**MENU** **3** **4**

マルチアクセス中表示

音声電話中にパソコンとつないだパケット通信の着信があったときや、iモード中に音声電話がかかってきたときに、どちらの画面を優先的に表示させるかを設定します。

・画面の表示が切り替わっても、通話やパケット通信は中断されません。

1 **MENU** **8** **5** **6** **1** ▶ **1** ~ **3**

- ・「設定なし」にすると、後から着信した画面が表示されます。ただし、音声電話中のパケット通信着信時は音声電話中の画面が表示されます。
- ・「パケット通信表示優先」にすると、音声電話中はパケット通信着信画面が、iモード中はiモード中の画面が表示されます。フロントキーの **CLR** を1秒以上押し、タスク切替メニューで電話に切り替えることもできます。

✓お知らせ


- ・音声電話中にiモードメールやメッセージR/Fを受信したときは、音声電話中の画面が優先して表示されます。

公共モードの利用

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。設定中に着信した場合、相手にはガイダンスやメッセージで電話に出られない旨をお知らせし、切断します。

- テレビ電話着信時は、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示されます。
- 公共モードとネットワークサービスを同時に設定している場合、留守番電話サービス*1、転送でんわサービス*1、番号通知お願いサービス*2は、公共モードに優先して動作します。
 - ※1 呼出時間が「0秒」以外での音声電話に対しては、公共モードのガイダンスの後にサービスが動作します。
 - ※2 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。
- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否した相手からの電話に対しては、公共モードは動作しません。


◆ 公共モード（ドライブモード）

運転中など電話の利用を控えなければならない場合は、公共モード（ドライブモード）を設定します。公共モード（ドライブモード）中に着信すると、電話の利用を控えなければならない旨を発信者にガイダンスでお知らせし、通話を切断します。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には「」（数字は件数）が表示され、不在着信として記録されます。

- 待受中に設定／解除できます。圏外でも可能です。
- 本機能設定中は、次の動作となります。
 - 通常通り電話をかけることができます。
 - 緊急通報（110番、119番、118番）すると、応答可能とするために設定は解除されます。
 - マナーモードや伝言メモより優先して動作します。

1 （1秒以上）

公共モードが設定され、待受画面にが表示されます。

解除：（1秒以上）

- 待受画面をタッチして、待受ランチャーの「機能」からも起動／解除できます。








■ 公共モード（ドライブモード）を起動すると

- 次の音が鳴りません。また、バイブレータやランプも動作しません。
 - 電話、メール・メッセージ、i コンシエルの着信音
 - お知らせタイマー、目覚まし、スケジュールアラームの音
 - i アプリのサウンド、i ウィジェットの効果音
 - 通話料金上限通知（通話料金上限通知を「ON」にし、アラームを設定している場合でも、メッセージは表示されません）
 - 充電開始／完了音、電池アラーム音、GPS測定中の音
- エリアメール設定で公共モード中に音が鳴るように設定している場合は、エリアメール受信時にブザー警報音やエリアメール着信音が鳴ります。
- i チャンネルのテロップは表示されません。

◆ 公共モード（電源OFF）

病院など電波の影響が心配で電源を切る必要がある場合は、公共モード（電源OFF）を設定します。公共モード（電源OFF）中で電源を切っている間に着信すると、携帯電話の電源を切る必要がある旨を発信者にガイダンスでお知らせし、通話を切断します。

- ダイアル発信して設定します。音声ガイダンスで設定／解除をお知らせします。

1       

公共モード（電源OFF）が設定されます。待受画面にアイコンなどは表示されません。

解除：     

設定の確認：     

■ 公共モード（電源OFF）を起動すると

- 「*25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
- サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れます。

伝言メモ





伝言メモを設定しておく、電話に出られないときに応答ガイダンスが流れ、相手の用件が録音／録画されます。

- 音声電話とテレビ電話を合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音／録画できます。

1 MENU 4 7 1 ▶ 1 または 2

「ON」にすると、待受画面にが表示されます。

✓お知らせ

- 応答ガイダンス中、伝言メモ録音／録画中でもまたはフロントキーの(CLR)を押すと電話に出ることができます。テレビ電話の場合はで自分側の映像が、で代替画像が送信されます。このとき、電話を受けるまでの録音／録画内容は記録されません。
- 圏外や電源が切れているときは、伝言メモは動作しません。留守番電話サービスをご利用ください。
- 伝言メモが4件録音／録画されると、待受画面にが表示され、伝言メモおよびクイック伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを削除してください。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始している場合は各サービスが動作します。
- オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモードの伝言メモの設定に従います。
- 2in1 利用時、AナンバーとBナンバーに着信した伝言メモを合わせて最大4件録音／録画できます。表示はモードによって異なります。

◆ 伝言メモ応答時間設定

着信してから伝言メモが応答するまでの時間を設定します。

1 MENU 4 7 1 3 ▶ 時間を入力

◆ 伝言メモ応答ガイダンス設定

伝言メモ応答中に相手に流れるガイダンスには、内蔵音だけでなく録音した自分の声を設定できます。1件約10秒間録音できます。


1 MENU 4 7 1 4 ▶ 伝言メモ応答ガイダンス欄を選択

▶ 2

内蔵音を設定：1 ▶ 操作3に進む

2 ガイドンスの編集欄の「録音」▶ 発信音の後に録音

メッセージ表示後に録音が開始され、約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。

停止：録音中に [停止]

- ガイダンスを確認するときは「再生」を選択します。

3 【登録】

✓お知らせ

- 録音したガイダンスを削除すると、内蔵音のガイダンスに戻ります。

◆ クイック伝言メモ

伝言メモを起動していなくても、その着信に限り1回だけ相手の用件を録音／録画できます。

- 伝言メモを起動する操作ではありません。

1 着信中に (1秒以上)

伝言メモ／音声メモの操作

伝言メモ、通話中音声メモ、待受中音声メモを再生／削除します。また、メモから電話をかけたり電話帳に登録したりします。

1 MENU 4 7

2 目的の操作を行う

伝言メモの再生：2 ▶ メモを選択 ▶ 削除するかを選択

〈例〉伝言メモ一覧画面



- マークの意味は次のとおりです。
 - / : 伝言メモ / 再生済み伝言メモ
 - / : テレビ電話伝言メモ / 再生済み伝言メモ
 - / 表示なし: 通話中音声メモ / 待受中音声メモ*1
 - : Bナンバーの発信 (2in1がデュアルモード時)
 - : 海外滞在時 (GMT+9:00を除く)*2
 - : 国際電話の伝言メモまたは通話中音声メモ
- *1 待受中音声メモの名前欄には「音声メモ」と表示されます。
- *2 着信または録音日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。
- 再生中は画面の下に再生時間の経過が表示されます。
- 再生中は次の操作ができます。
 - : 音量調整
 - : 停止
 - : ハンズフリー ON/OFFの切り替え
- テレビ電話伝言メモ再生中はハンズフリー ONで再生されます。ハンズフリー ON/OFFの切り替えはできません。
- マナーモード中にテレビ電話伝言メモを再生するときは、音声の再生確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると消音で再生されます。
- 音声メモの再生:** ▶ **メモを選択 ▶ 削除するかを選択**
- 伝言メモの削除:** ▶ **メモにカーソル ▶ [2] ▶ [1] または [2] ▶ 「はい」**
- 音声メモの削除:** ▶ **メモにカーソル ▶ [2] ▶ [1] または [2] ▶ 「はい」**
- 1件削除ではカーソルを合わせたメモが削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。
- 電話の発信*:** または ▶ **メモにカーソル ▶ または [テレビ電話]**
- [3] を押し、発信オプションを利用できます。→P65
- 電話帳に登録*:** または ▶ **メモにカーソル ▶ [4] または [5] ▶ [1] または [2]**
- 電話帳登録→P84
- 更新登録するときは登録する電話帳を選択します。
- * 待受中音声メモでは利用できません。

電話機能利用中の分離 / 接合

通話中 / 発信中 / 着信中にFOMA端末を分離 / 接合できます。

- 分離 / 接合によって音声通話先が切り替わった場合、ハンズフリー ON / OFFの設定に関わらずハンズフリー OFFになります。
- タッチロックの解除→P127

◆ 分離時の動作

キーユニット分離利用設定が「自動Bluetooth接続」時にユニットを分離したり、ベーシックスタイルまたはスライドスタイル時に発信信操作したりすると、ユニット間のBluetooth接続が開始されます。接続が完了すると音声通話先の切り替えが可能になります。

- FOMA端末の分離 / 接合→P46
- キーユニット分離時のBluetooth機器の同時利用について→P368
- 接続完了前に分離した場合は、ディスプレイユニットに音声通話先を切り替えるかの確認画面が表示されます。音声通話先をキーユニットに切り替えるには、「OK」を選択してを1秒以上押します。
- 接続に失敗した場合は、ディスプレイユニットでの通話となります。接続が成功するまでは、音声通話先の切り替えはできません。
- 接続完了後は次の動作になります。
 - 発信時 / 着信時は発信信操作を行ったユニット側に音声通話先が切り替わります。
 - 通話中は分離により音声通話先がキーユニットに切り替わります。音声通話中は通話中ランチャーが表示されます (→P78)。テレビ電話中はディスプレイユニットで映像を見ながら、キーユニットで音声を取り取りできます。

✓お知らせ

- キーユニットでの通話はユニットを閉じて行ってください。開いたままでは、受話口からの声がいささか聞こえる場合があります。また、キーユニットでの通話はBluetooth通信で行っているため、通信環境等により音声が途切れる場合があります。
- キーユニットで音声通話しながら、ディスプレイユニットでワンセグ視聴、動画再生、iウィジェット対応アプリを含むiアプリなどを操作できます。その場合、ディスプレイユニットから音が鳴ります。

◆ 接合時の動作


通話中／発信中／着信中にFOMA端末を接合すると、音声通話先はディスプレイユニットに切り替わります。

◆ 音声通話先の切り替え

セパレートスタイルで通話するとき、音声通話先をディスプレイユニットまたはキーユニットのどちらかに切り替えます。

1 通話中に (1秒以上)

通話先を切り替えた旨のメッセージが表示され、通話先が切り替わります。

- ・ 押すたびに通話先が切り替わります。
- ・ ディスプレイユニットで操作する場合、通話中画面をタッチ▶  をタッチします。

✓お知らせ

- ・ 次の場合は、キーユニットに音声通話先を切り替えられません。
 - ステレオイヤホンマイク (別売) を接続中
 - ハンズフリーまたはヘッドセット対応機器接続中

通話中ランチャー



ベーシックスタイルまたはスライドスタイルで音声電話中または音声電話保留中に、FOMA端末を分離すると通話中ランチャーが表示されます。キーユニットで通話しながら他の機能を起動させて操作できます。

- ・ セパレートスタイルでの音声電話中または音声電話保留中に、キーユニットに音声通話先を切り替えたときも同様です。
- ・ マルチタスク (→P344) で他の機能が起動している場合は、タスク切替メニューが表示されます。
- ・ タッチロックの起動／解除→P127

〈例〉通話中ランチャーで電話帳を確認する

1 音声電話中または通話保留中にFOMA端末を分離▶電話帳をタッチ



- ・ 音声通話先はキーユニットに切り替わります。
- ・ 通話中ランチャーに表示されている以外の機能を利用する場合は、フロントキーの  を1秒以上押します。
- ・ ディスプレイユニットのタッチ操作で通話中ランチャーを起動できますが、セパレートスタイル時でも音声通話先は切り替わりません。通話中画面をタッチ▶  をタッチして音声通話先を切り替えます。

電話のタッチ操作

ディスプレイユニットのタッチ用メニューボタンで電話をかけたり受けたりします。すべてのスタイルで操作できます。


- ・ タッチロックの起動／解除→P127

◆ 電話をかける


待受タッチボタンの  をタッチして操作します。


1 待受タッチボタンの をタッチ



電話番号を入力して発信：



- ①  をタッチ▶電話番号を入力
 - ・ 番号入力画面では次の操作ができます。

 CLR : 1つ前の状態に戻す

 : 番号入力画面の非表示

- ②  または [テレビ電話] をタッチ

リダイヤルから発信： をタッチ▶相手をタッチ▶  [発信]

着信履歴から発信： をタッチ▶相手をタッチ▶  [発信]

2 通話が終わったら画面をタッチ▶ をタッチ

✓お知らせ

- テレビ電話発信時、ガイドンスボタンの「テレビ電話」をタッチしても発信できません。

◆ 電話を受ける

着信中に画面をタッチして操作します。

1 着信中に画面をタッチ

着信音量調整： をタッチ ▶ 音量調整パネル上をタッチまたはスライド
音声電話またはテレビ電話に応答： をタッチ
応答保留： をタッチ

2 通話が終わったら画面をタッチ ▶ をタッチ

✓お知らせ

- テレビ電話応答時またはテレビ電話応答保留解除時は、ガイドンスボタンの「テレビ電話」または「代替画像」をタッチしても通話できます。

◆ 通話中やメモ再生中の操作

音声電話中、テレビ電話中、伝言メモ／音声メモ再生中に画面をタッチして操作します。

1 通話中またはメモ再生中に画面をタッチ

ユニット間の音声通話先の切り替え： をタッチ
通話先を切り替えた旨のメッセージが表示され、音声通話先が切り替わります。

- セバレートスタイルの通話中に有効です。

通話中ランチャーの起動： をタッチ

- セバレートスタイルのディスプレイユニットで通話中でも音声通話先は切り替わりません。

音声電話中DTMF送信： をタッチ ▶ 数値入力用パネルをタッチ

通話切断： をタッチ

テレビ電話の表示倍率の切り替え<ズーム>： をタッチ ▶ または または再生音量または再生音量の設定： をタッチ ▶ 音量調整パネル上をタッチまたはスライド

通話中または再生中のハンズフリー切り替え： または をタッチ

- タッチするたびに、ハンズフリー ON / OFF が切り替わります。

キャラ電の設定

テレビ電話中に、自分の映像の代わりにキャラクタを送信します。

- キャラ電の表示→P316

1 通話中に ▶ フォルダを選択 ▶ キャラ電を選択



- キャラ電送信中に次の操作ができます。

~ 、：アクション

：アクションの中止

：アクション一覧の表示

(1秒以上)：全体アクションとパーツアクションの切り替え

テレビ電話中の表示設定

テレビ電話で会話しながら、送信する映像／画像を変更したり、画面表示を変更したりできます。

- テレビ電話中に分離すると、音声通話先がキーユニットに切り替わり、ディスプレイユニットで映像を見ながらキーユニットで音声をやり取りできます。

◆ 通話中送信映像の設定



- アウトカメラを利用するときは、スライドスタイルまたはセパレートスタイルにしてください。

1 通話中に目的の操作を行う

カメラ映像／代替画像の切り替え： [自画像／代替画像]
インカメラ／アウトカメラの切り替え^{*1}： [カメラ切替]

- カメラを切り替えても、撮影モード、画像の明るさ、ちらつき調整の設定は保持されます。

表示倍率の切り替え〈ズーム〉^{*1}：

- を押すと次の順で、を押すと逆の順で切り替わります。カメラを切り替えると解除されます。
インカメラ：標準→2倍
アウトカメラ：標準→2倍→4倍→6倍→8倍→10倍→12倍→16倍

映像の明るさ調整^{*1, 3}：   ▶  ~ 

ちらつき調整^{*1, 3}：   ▶  ~ 

お使いの地域の電源周波数に合った設定に切り替えると、ちらつきが抑えられる場合があります。

- カメラ、バーコードリーダーのちらつき調整の設定にも反映されます。

映像の特殊な効果〈撮影モード〉^{*1}：   ▶  ~ 

逆光になる被写体を撮影したり、映像を白黒やセピア調にしたりできます。

ライト点灯／消灯^{*1}：  

- 通話中の設定操作などで一時的にライトが消える場合があります。

接写撮影の切り替え^{*2}：  


- 約8～10cmのごく近い距離の映像を送信するときにピントを合わせられません。

カメラオフ画像の送信：  

テレビ電話画像選択の代替画像で設定した代替画像が送信されます。

- 代替画像にキャラ電を設定していると標準画像が送信されます。

静止画の送信：  ▶ フォルダを選択 ▶ 静止画を選択

- 解除するときはを押します。

送信／受信画像品質の設定：  ▶  または  ▶  ~ 

- 「動き優先」では動きが滑らかになりますが画質がやや粗くなり、「画質優先」では画質は細やかになりますが動きがやや鈍くなります。
- 受信画質を変更すると、相手の送信画質に反映されます。

※1 カメラ映像送信中のみ設定できます。

※2 アウトカメラ使用時のみ設定できます。

※3 通話終了後も設定は保持されます。

◆ 通話中画面表示の設定

- 通話終了後も設定は保持されます。

1 通話中に目的の操作を行う

親子画面の表示切り替え： [画面切替]

親画面のサイズ変更： (1秒以上)

- 押すたびに大→中→小→大の順に切り替わります。

画面表示の設定：  ▶ 各項目を設定 ▶  [登録]

各項目設定→P81「テレビ電話動作設定」

テレビ電話切替機能通知

本FOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えに対応していることをネットワークに通知しておきます。

- ・圏外では設定できません。待受中に、電波状態のよい所で操作します。
- ・お買い上げ時は、テレビ電話切替機能通知は開始に設定されています。

1 MENU 8 6 7

2 目的的操作を行う

開始：1 ▶ 「はい」

停止：2 ▶ 「はい」

設定の確認：3 ▶ 「はい」

テレビ電話画像選択

テレビ電話中に相手に送信する各種画像を設定します。

- ・次の画像は送信する静止画や代替画像などに設定できません。
 - サイズが176×144より大きい静止画
 - アニメーション、バラバラマンガ
 - JPEG形式、GIF形式以外の静止画
 - FOMA端末外への出力が禁止されている画像→P330「詳細情報の表示項目と変更可否一覧」の「ファイル制限」

1 MENU 8 6 5 ▶ 1 ~ 5 ▶ 各項目を設定 ▶ 6 [登録]

イメージ表示：画像の種類を設定

イメージ一覧：イメージ表示が「選択キャラ電」（代替画像設定のみ）または「イメージ」のときに選択

✓お知らせ

- ・代替画像に設定したキャラ電を削除した場合、代替画像は標準キャラ電に戻ります。静止画、標準キャラ電を削除した場合は標準画像になります。
- ・伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像に設定した静止画を削除した場合は標準画像に戻ります。

テレビ電話動作設定

テレビ電話が接続できなかったときの動作やテレビ電話中の画面などを設定します。

- ・相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信があります。「ON」にすると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmovaサービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられないときなどに、音声電話に切り替えて再発信します。ただし、ISDN同期64Kのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2010年2月現在）、間違ひ電話をした場合は、このような動作にならないことがあります。通話料金が発生する場面もあるためご注意ください。

1 MENU 8 6 3 ▶ 各項目を設定 ▶ 6 [登録]

音声自動再発信：接続不可の場合の音声電話による再発信を設定

テレビ電話画面設定：画面表示を設定

子画面表示：子画面表示を設定

- ・テレビ電話画面設定を「両方」にすると設定できます。

画面サイズ設定：親画面表示サイズを設定

受信画質設定：相手からの受信画質を設定

明るさ調整：「端末設定に従う」選択時は照明／キーバックライト設定の明るさ調整に従う

ハンズフリー設定：接続時のハンズフリー ON／OFFを設定

✓お知らせ

- ・音声自動再発信が「ON」でも、音声電話中または64Kデータ通信中はテレビ電話を発信できません。ただし、パソコンとつないだバケット通信中はテレビ電話を発信すると音声電話で再発信されます。
- ・音声自動再発信が「ON」で、音声で再発信したときの通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。

パケット通信中着信設定

i モード中、Music&Videoチャンネルの番組取得中にテレビ電話がかかってきたときの対応方法を設定します。

MENU **8** **6** **4** ▶ **1** ~ **4**

- 「テレビ電話優先」にすると着信画面表示が優先され、テレビ電話に出るとパケット通信が切断されます。テレビ電話着信時が i モード中の場合は、通話終了後 i モードの画面に戻ります。Music&Videoチャンネルの番組取得中の場合は番組取得が再開されます。
- 「パケット通信優先」にすると着信画面は表示されずに切断され、着信履歴に記録されます。
- 「留守番電話」「転送でんわ」にすると、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが停止中でも各サービスが動作します。

✓お知らせ

- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービス未契約時は、「留守番電話」または「転送でんわ」にしても「パケット通信優先」の動作となります。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始にし、呼出時間が「0秒」の場合は、本設定に関わらず各サービスが動作し、着信履歴には記録されません。

テレビ電話使用機器設定

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブルO2（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。

この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定、操作方法については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。ドコモテレビ電話ソフトはドコモのホームページからダウンロードしてご利用ください。

MENU **8** **6** **6** ▶ **1** または **2**

✓お知らせ

- 音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホン契約中は、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴に不在着信として記録されます。外部機器からのテレビ電話中に音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。